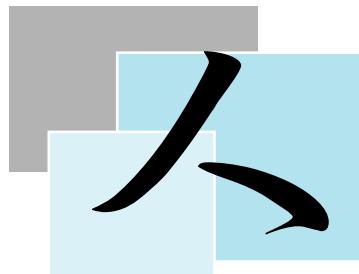


「テコンドー東アジア大会代表選考会」マイナス68kg級で樋口選手優勝！の記事が8月23日の新聞のスポーツ欄に大きく踊る。これにより中国・マカオで10月29日から開催される第4回東アジア大会に日本代表として出場することが決まり、さらに7月には台湾で開催された「国際台灣彰化オープントekondo選手権大会」でも優勝した。



きよ てる
樋 口 清 輝 24歳 <内牧2区>
ホームページ
<http://kivoteru-higuchi.infoseek.co.jp>



韓国に渡り10年、テコンドーに生きる戦士 ～2008 北京オリンピックへの挑戦～

平成8年、韓国豊生高校に留学。本場韓国で強くなる!と旅立つて3カ月目の日記には「練習がきつい、でも友達ができることが多いことが一番つらい」と言葉や文化の違いで生じた孤独感におそれ毎日布団の中で家族の写真を見ながら泣いていた厳しい現実がありました。

しかし、朝5時から夜遅くまでの練習に耐えに耐え、豊生高校3年の時には、韓国で最も大きな全国大会に学校代表として出場。そして優勝、「このときの喜びは生涯忘れない」と力強く語る瞳に当時の努力のほどがうかがえました。

以後、次々に国内外で勝利し、このときから、オリンピ

この努力が実り、県大会、九州大会で入賞を果たす。中学1年の夏、合宿で訪れた本場韓国のテコンドーを目の辺りにして強くなりたいとの闘志が膨らむ。そんな中、父は「韓国への高校へ行き本場のテコンドーをやつてみるか」と、中学3年の長男に告げました。

本場テコンドー王国「韓国」へ留学して得たものは何なのか話を聞きました。

夢は、テコンドーの魅力を伝えられる第一人者になること

「テコンドーは人を倒す競技でなく技を見てもう競技。韓国では、ダイエットや音楽に合わせるなどで気軽に楽しむ方が多いんですよ、ぜひ、日本中に広めたいと思っています」と言い残し、また、韓国へ帰つて行きました。

強くなつたのは体や技だけではなく、精神的にも大きく成長した樋口選手。阿蘇市を代表する真のトップアスリートです。

「阿蘇に帰り、今、この辺りをランニングしていますが、し
みじみいい所だと思います。僕
は日本中、世界も何ヵ国か行き
ましたが、こんな美しい所はあ
りません」と久々の阿蘇を楽し
む樋口選手。

現在、韓国の中大に通い
ながら、次の北京オリンピック
出場を目指しています。

ツク正式競技となつた「2000年シドニーオリンピック」に出場しました。試合は初回から優勝候補の台湾の選手とあたり、いきなり決勝戦!?と注目の一戦となりました。結果、惜しくも破れた樋口選手。しかし地元挙げてテレビにかじりつき応援してくれました。人々たちに大きな感動を与えてくれました。

協会員が交通安全を誓い

阿蘇地区交通安全協会主催の「第17回女性部ミニバーチャルボーリング大会」が、8月28日一の宮中学校体育館で行われました。

大会には、協会13支部から12チームの選手が熱戦をくりひるべ 韶暉を深めました

また、大会にあわせて「交通標語コンクール」も行われ、31点の応募の中から、入賞作品が選ばれました。最優秀作品は、1年間同協会の「交通標語」として使われます。

試合の結果は次のとおりです。
優勝 里川支部 2位 扱利支部

交通標語入賞作品

文通標語入賞作品
最優秀作品
「急がずに ゆっくり満喫 阿蘇の道路」
内牧吉郎 小嶋富士子

内牧文部 小鳴畠工子 優秀作品 「赤ちゃんの笑顔を守るチャイルドシート」 里川支部 幸原なつみ

「ハンドルを 持ったら 携帯ドライブモード」 古城支部 管 光子